

イエスの姿が変わる

ルカによる福音 9:28b-36

(そのとき、) イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。ペトロと仲間は、ひどく眠かったが、じっとこらえていると、栄光に輝くイエスと、そばに立っている二人の人が見えた。その二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。ペトロがこう言っていると、雲が現れて彼らを覆った。彼らが雲の中に包まれていくので、弟子たちは恐れた。すると、「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」と言う声が雲の中から聞こえた。その声がしたとき、そこにはイエスだけがおられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時だれにも話さなかった。

説教

わたしたちの祈りはたいてい「お願い」になってしまいます。いわゆる困ったときの神頼みです。でもイエスさまは違います。イエスの祈りは神に出会うこと、神の声を聴くことです。きょうの朗読箇所ではイエスさまは祈りに弟子たちを立ち会わせています。そこでペテロたちはモーセ、エリヤと語り合う光り輝くイエスさまを目撃します。これはぼんやりとした幻ではなく、はっきりと弟子たちの前にあらわれたことです。その証拠にペテロは小屋を建てましょうと提案しています。

ひょっとしたら、わたしたちもペテロと同じようにイエスさまやモーセ・エリアを見たことがあるのかもしれませんが。しかし、目が曇っていてそれがなんだか理解できない、恐ろしくてそれはなかったこと、見なかったことにしているだけかもしれません。

イエスさまは山で光り輝く姿となり、モーセ・エリアとともに神の声を聴きます。そして神のご指示通りに「受難」を受け「復活」の道を歩まれます。

「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」

雲の中から聞こえたというこの神の声に耳を傾けることができますように。

イエス・キリストのそばにいて、いっしょに歩むときに、私たちも神の子として生き始めるのです。
